

各 位

上場会社名 昭和鉄工株式会社 代表取締役社長 日野宏昭 (コード番号 5953 福証) 問合せ先責任者 取締役常務執行役員 尾島 孝則 (TEL, 092-933-6390)

2026年3月期 第2四半期(中間期)業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2025年5月14日に公表いたしました2026年3月期第2四半期(中間期)の業績予想と本日公表の実績値において差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の業績予想数値と実績値の差異について (2025年4月1日~2025年9月30日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主 に帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想(A)	6,600	20	80	60	72 83
今 回 実 績 値 (B)	6,321	330	468	308	374 80
増 減 額(B-A)	△279	310	388	248	_
增 減 率(%)	$\triangle 4.2$	1,552.7	485.0	414.6	_
(ご参考) 前期実績(2025 年 3 月期)	14,420	1,205	1,342	1,047	1,271 39

2. 差異の理由

第2四半期(中間期)の業績につきましては、売上高は、国内における旺盛な建設需要や既存設備の更新需要を背景に底堅く推移したものの、サーモデバイス機器の海外向け熱処理炉案件の一部が10月出荷となったことなどにより、前回予想を下回る見込みとなりました。

一方、損益につきましては、原材料価格の高騰に対応した適正な売価の設定、設備投資・製造工程の 見直しによる原価低減、経費削減等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益が 前回予想を上回る見込みとなりました。

なお、通期業績予想につきましては、工事の担い手不足による工事遅延や米中貿易摩擦に伴う世界経済の下振れリスクなど楽観視できない状況が続いており、前回発表予想値を据え置いております。